

地域活動 レポート

令和7年8月

No.53

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



地活協レポート改称のお知らせ

平素は地活協レポートをご一読いただきありがとうございます。この度、地活協レポートを「**地域活動レポート**」に改称することになりました。今後は、地活協はもちろん、自治会・町内会やそれ以外の地域活動の情報も掲載したいと思いますので変わらぬご協力よろしくお願いいたします。

■豊里南・こどもフェスタ（7月12日）

豊里南地域でこどもフェスタが開催されました。この事業は子どもの居場所づくり運営事業の一環で、今回はわんこそば風のそばやうどん、かき氷などをみんなで食べました。当日はとても暑かったですが、行列ができるほどの盛況でした。

スタッフの皆様にお話を伺うと、豊里南小学校OBである中学生や、普段は毎週木曜日小中学生を対象に「**のびのび学習室**」のボランティアをされている学校法人瓶井学園の学

生が多数ボランティアで参加しているのと。実際受付を担当したり、かき氷を一生懸命作ったりする姿を見かけました。

豊里南地域では、「のびのび学習室」のように普段から地域が子どもたちや学生と関係性を築いているからこそこのような事業ができるのだと感心しました。



■大桐・ふれあい喫茶in夏まつり（7月13日）

大桐地域でふれあい喫茶in夏まつりがウエルファーセンターで開催されました。



入り口前にあった看板（右の写真）を見ると、一見夏祭りですが、「ふれあい喫茶（今回は『おやじカフェ』と『こどもきつき』（子ども

も会の子どもたちが一日店長になり、子どもたちにお菓子やジュースを提供）が行われました。」「防災コーナー」、「大桐地域ふれあい子育てサークルによる）パネルシアター」と、地活協の定例事業の名前がほとんど出てくるのが分かります。例えば、ウエルファーセンターの隣にある集会所で行われたパネルシアターの担当は子育てサロンのスタッフ。大桐地域の子育てサロンは普段第一月曜日に開催していますので、休日に参加できるのは利用者にとって大変有意義だったのではないのでしょうか。

また、受付には「子ども会に入りませんか？ 今、入会したら『お楽しみ券』3枚プレゼント！』というポスターがありました。今回のイベントを通じて知り合いになって、入会してもいいかなという気持ちが生まれてから入会できる仕組みになっていました。

普段地活協の各事業は日時も場所もバラバラで実施していると思いますが、集まれば（**地活協レポート**令和6年9月号でも取り上げましたが、事業を重ねれば）一つのお祭りに変化しました。このように一から新しい内容にしながらも、定例の事業を複数取り入れることで一つのイベントを開催することができそうです。今後夏祭り、秋祭りと地域の各種イベントが開催されますが、ぜひ参考にしたいと思っています。